

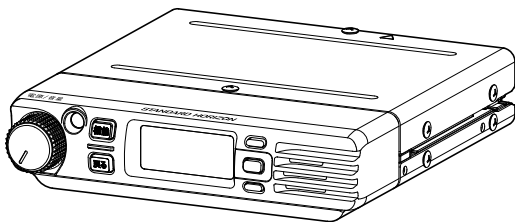
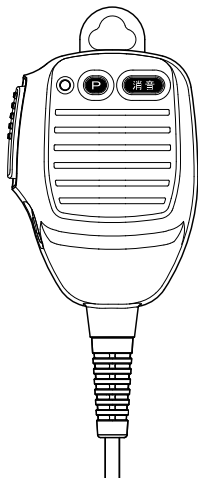
STR 業務用通信機

一般業務用無線機

SRM620U1  Bluetooth®

取扱説明書

「ARIB STD-T102」準拠



このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

この取扱説明書は、基本的な操作に関する説明が記載されています。
詳細な設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

この無線機は国内専用モデルです。
海外では使用できません。

目次

構成品	1
オプション	1
ご利用上の注意	1
購入後に初めて電源を入れた時 (Bluetooth の設定)	2
基本的な使いかた	3
主なキーの説明	3
P1 キー / P2 キーにプログラムできる機能	4
便利な機能を使う	6
① マルチチャンネル待受機能	6
【例】 P1 キーにマルチチャンネル待受機能が設定されている場合	6
マルチチャンネル待ち受けを中止する時	7
② CUE (キュー) 機能	8
【例】 P2 キーに CUE 機能が設定されている場合	8
③ Bluetooth® ヘッドセットでハンズフリー運用をする	9
④ PA (拡声器) 機能	10
【例】 セカンダリ PTT スイッチに PA 機能が設定されている場合	10
⑤ リモート PA (拡声器) 機能	11
他の無線機 (SRM620U1) の外部スピーカーから音声を出す	11
各部の名前と機能	12
フロントパネル	12
フルドットディスプレイ	13
マイクロホン	14
リアパネル	15
通信方式について	16
UC (ユーザーコード) 通信	16
個別通信	16
メニュー設定	17
故障かな?と思う前に	21
防塵・防水性能について	22
定格	22
安全上のご注意 ～必ずお読みください～	23

構成品

○ 無線機本体 (SRM620U1)	1
○ マイクホン (無線機本体に取り付けられています)	1
○ 無線機取付金具 (取付ネジ一式を含む)	1
○ マイクハンガー (取付ネジ一式を含む)	1
○ DC 電源ケーブル	1
○ 予備ヒューズ (5A)	2
○ 取扱説明書 (本書)	1
○ 保証書	1

不足品がある場合には、お買い上げの販売店にお申し出ください。

オプション

○ Bluetooth ヘッドセット	SSM-BT10
○ スピーカー付きマイク (カールコード、ケーブル長 約 50cm)	SSM-77E
○ スピーカー付きマイク (ストレートコード、ケーブル長 約 5m)	SSM-80
○ スピーカー付きマイク (ストレートコード、ケーブル長 約 10m)	SSM-81
○ 高音質外部スピーカー	MLS-200
○ マグネット取付金具 (外部スピーカー MLS-200 用)	SMB-203
○ GPS アンテナ (ケーブル長 約 5m)	SCU-38
○ 卓上用安定化電源 (スピーカー内蔵)	SAS-01A

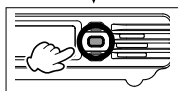
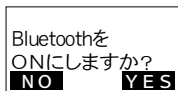
ご利用上の注意

- ご利用にあたって
 - 本機はデジタル、アナログ両方の通信方式に対応しています。設定はお買い上げの販売店にご依頼ください。
 - 本体底面に貼り付けてある“証明ラベル”を剥がしたり、無線機やマイクを“分解”や“改造”したり、指定以外の装置を接続することは、法律で禁止されています。
 - 他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります。
 - 本説明書は基本的な操作に関する説明が記載されています。詳細な設定や使用方法に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください
- 免責事項
 - 取扱説明書に記載の使用方法とは異なる使用方法により発生した故障、障害、損害について、当社は一切責任を負いません。
 - 本機を使用して生じた障害や損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いません。
- 本機に接続する外部機器に関して
 - 本機に接続する外部機器類は、必ず当社純正オプションを使用してください。
 - 当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります。
 - 当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、弊社では一切責任を負いません。

購入後に初めて電源を入れた時 (Bluetooth の設定)

購入後に初めて電源を入れた時は Bluetooth の設定画面が表示されますので、Bluetooth を使う方も使わない方も、はじめに下記の手順で設定してください。

Bluetooth ヘッドセットを使う場合

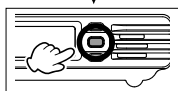


[P1] キーを押します。

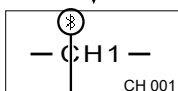
接続する Bluetooth ヘッドセットをペアリング (接続) モードにします。操作方法は、ご使用になるヘッドセットの取扱説明書をご覧ください。



接続したいヘッドセットを [UP] または [DOWN] キーで選択してください。



[P1] キーを押します。



無線機とヘッドセットが接続されると点灯します。

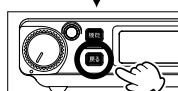
設定が終了しました。

- 次回からは、この Bluetooth 設定画面は表示されません。無線機とヘッドセットの電源を入れるだけで、自動で接続されます。
- 送信する時は話を始めると自動で送信状態になります。話を止めると受信に戻ります。

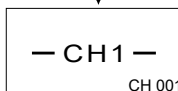
● Bluetooth ヘッドセットを使うのをやめる

1. [戻る] キーを押しながら、電源を入れます。
2. “Bluetooth を ON にしますか?” の画面が表示されますので、[戻る] (NO) キーを押します。

Bluetooth ヘッドセットを使わない場合



[戻る] キーを押します。





設定が終了しました。

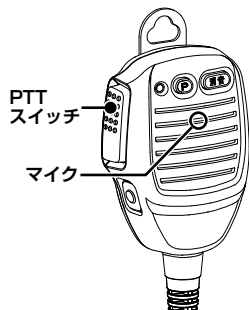
- Bluetooth ヘッドセットを使わないで通話することができます。
- 次回からは、この Bluetooth 設定画面は表示されません。

● Bluetooth ヘッドセットを使えるようにする

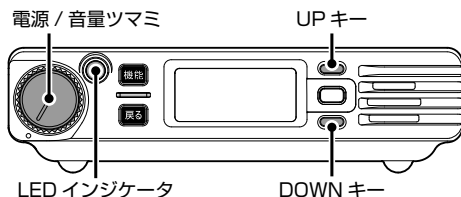
1. [戻る] キーを押しながら、電源を入れます。
2. “Bluetooth を ON にしますか?” の画面が表示されますので、左記の “Bluetooth ヘッドセットを使う場合” の操作を行います。

基本的な使いかた

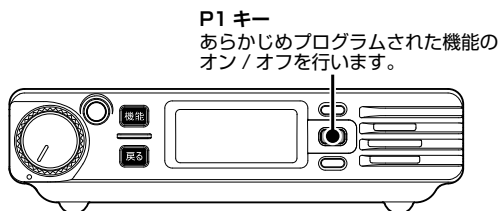
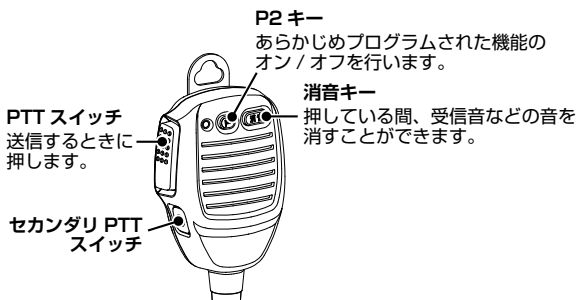
1. 電源 / 音量つまみをまわして電源を入れて、聞きやすい音量に調節します。
2. [UP] または [DOWN] キーを押してチャンネルをあわせませす。
信号を受信するとLEDインジケータが点滅し(12ページ参照)、電波の強さに応じてディスプレイに「 ~ 」が点灯します。
3. PTT(通話)スイッチを押しながら、マイクに向かって話します。
送信中はLEDインジケータが「赤色」に点灯します。



●電源を切るには、電源 / 音量つまみをカチッというまで左にまわします。



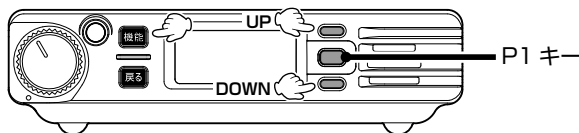
主なキーの説明



P1 キー / P2 キーにプログラムできる機能

よく使う機能を [P1] キーや [P2] キーに登録しておく、ワンタッチでアクセスすることができます。“短押し”と“長押し”で動作する機能が異なる場合があります。

補足 機能の登録は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。



機能	動作
キーロック	各キーを押しても動作しないようにするロック機能を ON/OFF します。ロックを解除するときは、キーを長押しします。
バックライト	ディスプレイやキーのバックライト（照明）が点灯または消灯します。
待受受信	マルチチャンネル待ち受け機能の有効 / 無効の設定。
待受受信 CH 設定	現在のチャンネルを待受受信対象または対象外に設定します。
リスト1 待受受信	待ち受け受信タイプの“プログラム 1”に登録したチャンネルで待受受信を行います。
リスト2 待受受信	待ち受け受信タイプの“プログラム 2”に登録したチャンネルで待受受信を行います。
送信出力	送信出力が 10W → 5W → 1W → 10W → …と切り替わります。
MUTE	ミュート（消音）機能を ON/OFF します。
VOX	音声自動送信（VOX）機能が有効または無効になります。
Monitor	キーを押している間は、デジタルモードの場合は UC コードが異なる信号の音声を聞くことができます。アナログモードの場合は信号が弱く途切れて聞こえる音声を聞きやすくします。
CUE	CUE 送信を行います。
緊急 （デジタルモードのみ）	不慮の事故などの緊急事態をアラーム音で周囲に知らせたり、緊急信号を送出して知らせることができます。
REC （デジタルモードのみ）	相手の音声を録音することができます。
PLAY （デジタルモードのみ）	自動で録音された最後の録音内容を再生します。
秘話	32,767 通りの秘話コードが一致する無線機どうしだけが交信することができます。
音声案内	現在のチャンネル番号を音声で読み上げます。

機能	動作
ワンタッチボリューム	音量ツマミをまわさずに、ワンタッチであらかじめ設定した音量にすることができます。
個別	個別通信において、宛先を先頭の個別 ID に変更します。
グループ	個別通信において、宛先を先頭のグループ ID に変更します。
ショートメッセージ	ショートメッセージの送信と受信したメッセージを表示します。
ステータス	ステータスに関する操作を行います。
リモートメニュー	指定した無線機をリモート制御することができます。
履歴表示	各種動作の履歴を表示します。
録音メモ (デジタルモードのみ)	録音した音声を再生します。
ARTS 情報表示	ARTS 使用時、圏内の他局情報を表示します。
メニュー	無線機の設定を行う「簡易設定」画面を呼び出します。
クイックアンサー	音声を発して応答できない時などに、あらかじめ録音してある「後で応答します」などのメッセージを送信します。
拡声器 (Public Address)	電波の送信は行わず、マイクロホンの音声を外部スピーカーから出力する拡声器機能をオン/オフします。
表示変更	ディスプレイ表示を標準 → 大 → 特大 → 詳細に切り替えます。
Ch Up	次のチャンネルに移動します。
Ch down	前のチャンネルに移動します。
Ch Up Fast	キーを押している間、アップ方向に高速でチャンネルが変わりません。
Ch down Fast	キーを押している間、ダウン方向に高速でチャンネルが変わりません。
戻る	通常の待ち受け画面に戻ります。
スピーカー切替	音を出すスピーカーが「フロントスピーカー」→「マイクスピーカー」→「フロント+マイクスピーカー」と切り替わります。 外部スピーカーを接続した時は、「フロント+外部スピーカー」→「マイク+外部」と切り替わります。
Bluetooth 接続時の Speaker	Bluetooth 運用時に、無線機のスピーカーからの音声出力を「禁止」または「許可」します。
Light 禁止	ディスプレイ、各キーの照明および LED インジケータの点灯を ON/OFF します。
無効	機能無し

便利な機能を使う

① マルチチャンネル待受機能

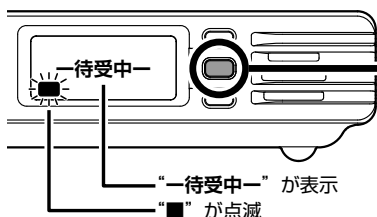
部署やグループで異なったチャンネルを使用している状態で、チャンネルを切り替えることなく部署やグループ間の通話を簡単に行うことができます。

補足

マルチチャンネル待受機能の設定に関しては、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。

【例】 P1 キーにマルチチャンネル待受機能が設定されている場合

1. [P1] キーを押すと、登録されている全てのチャンネルで信号の待ち受け受信を始めます。



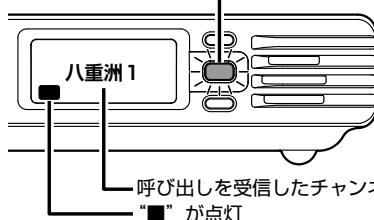
P1 キーを押す

マルチチャンネル待ち受け中は、あらかじめ設定してある色で点灯します。
設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください

2. 信号を受信した時は、受信したチャンネルで待ち受けが止まり相手の話を聞くことができます。その後 [P1] キーが点滅している間にマイクロホンの PTT スイッチを押すと送信することができます。

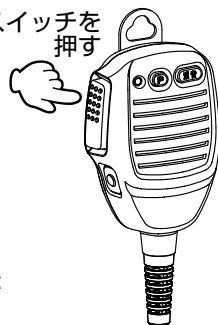
受信中は点滅します。

受信が終ると 5 秒間点滅して点灯に変わります。
点滅中に PTT スイッチを押すと、設定に関係なく受信したチャンネルで送信します。



呼び出しを受信したチャンネル番号または名称
“■” が点灯

PTT スイッチを
押す



[P1] キーの点滅が点灯になると再びマルチチャンネル待ち受け動作を開始します。

マルチチャンネル待ち受けを中止する時

待ち受け機能が動作中に [P1] キーを押します。

[P1] キーの色が変わってマルチチャンネル待ち受け動作を中止します。

マルチチャンネル待ち受け機能の動作に関して

1. マルチチャンネル待ち受けを中止した時にどのチャンネルに移動するかは、以下から設定できます（設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください）。
 - ・待ち受け受信中に、最後に通話した時のチャンネル
 - ・待ち受け受信を開始した時のチャンネルそれ以外のチャンネルで通信を行うときは、[UP] または [DOWN] キーでチャンネルを選びます。
2. その受信が終るまで他のチャンネルの信号を待ち受けしません。
3. 待ち受け機能動作中に PTT スイッチを押して送信するチャンネルは、以下から設定できます（設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください）。
 - ・待ち受け受信を開始した時のチャンネル
 - ・最後に通話した時のチャンネル
 - ・“指定チャンネル 1” または “指定チャンネル 2” に登録してあるチャンネル

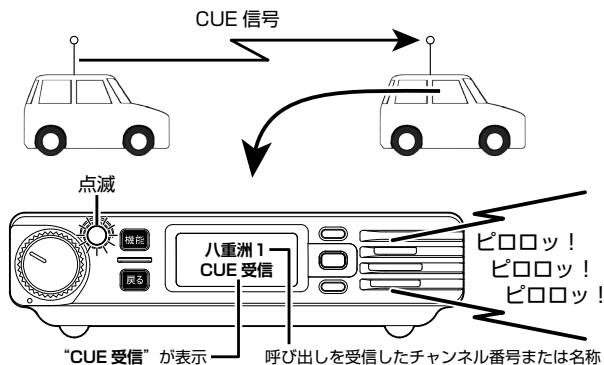
② CUE (キュー) 機能

相手の無線機のアラームを鳴らして、緊急連絡や重要な用件の通知を行うことができます。この機能は受信側の音量ボリュームに関係なく、設定した音量でアラームが鳴り、同時に受信側のパネル面のLEDが点滅して、画面に“CUE 受信”を表示させます。

CUEを受信した時に無線機の近くにいなかった場合でも、“CUE 受信”の表示とLEDランプの点滅が継続しますので、戻った時に緊急着信があったことがわかります。

補足

CUE (キュー) 機能の設定に関しては、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。

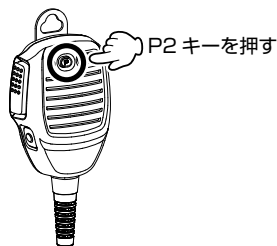


CUEを受信した後にマイクロホンのPTTスイッチを押すと、CUE (キュー) を送信した相手のチャンネルで送信します。

マルチチャンネル待ち受け機能が動作中にCUE (キュー) を受信すると、待ち受け動作は一時的に停止し、“CUE 受信”の表示とLEDランプが点滅します。その後PTTスイッチを押すと、CUE (キュー) を送信した相手のチャンネルで送信します。送信が終了と、再びマルチチャンネル待ち受け動作を開始します。

【例】P2 キーにCUE機能が設定されている場合

マイクロホンのP2キーを長押しすると、相手の無線機に緊急を通知します。



③ Bluetooth® ヘッドセットでハンズフリー運用をする

オプションの Bluetooth® ヘッドセット “SSM-BT10” を使用するとハンズフリー通信が可能です。音声で自動的に送信と受信を切り替えて通話する “音声自動送信 (VOX) 機能” にも対応しています。

Bluetooth® ヘッドセットを使用したハンズフリー通信を行っているときでも、無線機のマイクロホンを使用して通話することができます。

Bluetooth® ヘッドセットの設定は 2 ページを参照してください。

Bluetooth® ヘッドセットを使用した通話方法は、以下の方法があります。

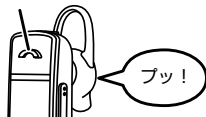
1. 音声自動送信 (VOX) 機能

話を始めると自動で送信状態になり、話をしている間は送信状態のままです。話を止めると自動で受信状態に戻ります。

- Bluetooth® ヘッドセット使用時に話をしても送信しないようにする (一時的に音声自動送信 (VOX) 機能をオン/オフする)

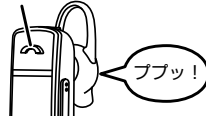
車内で同乗者と話をする時など、話をしても無線機が送信しないようにしたい時は、ヘッドセット SSM-BT10 のマルチファンクションボタンを短押しします (ブツと電子音が鳴ります)。通話したいときは、無線機のマイクロホンを使用してください。もう一度マルチファンクションボタンを短押しすると (ブツと電子音が鳴ります)、再び音声で送信と受信を切り替えられるようになります。

マルチファンクションボタンを押す




声で送信しなくなります

もう一度押す



声で送信できます

声で自動的に送信できるときは、画面に “” が点灯します。



2. Bluetooth® ヘッドセット “SSM-BT10” のキーで送受信を切り替える

SSM-BT10 のマルチファンクションボタンを短く押すと送信状態になり、もう一度短く押すと受信状態になります。

補足

この操作を行うには “音声自動送信 (VOX) 機能” を OFF にします。“音声自動送信 (VOX) 機能” に関しては、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

④ PA (拡声器) 機能

オプションの外部スピーカー“MLS-200”を接続して拡声器として使用することができます。オプションのマグネット取付金具“SMB-203”で外部スピーカーを車両の外側にワンタッチで取り付けて、周囲への緊急連絡や避難誘導に使うことができます。

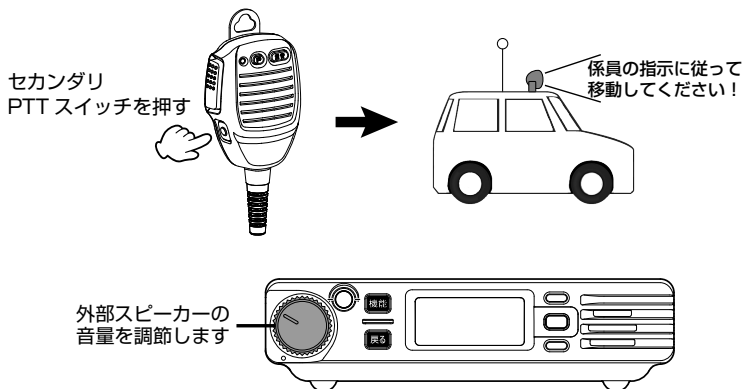
落下などの危険がありますので、マグネット取付金具で外部スピーカーを車両に取り付けたまま運転しないでください。

補足

PA (拡声器) 機能の設定に関しては、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。

【例】セカンダリ PTT スイッチに PA 機能が設定されている場合

セカンダリ PTT スイッチを押しながらマイクに向かって話すと、外部スピーカーから音声が出ます。



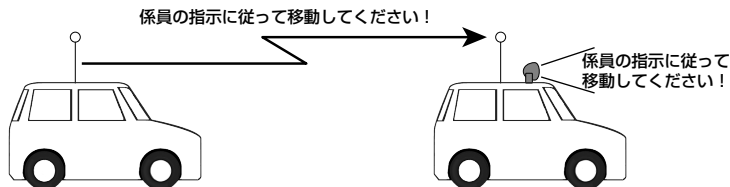
⑤ リモートPA (拡声器) 機能

他の無線機 (SRM620U1) の外部スピーカーから音声を出す

離れた場所にある他の無線機 (SRM620U1) のPA 機能を動作させて、緊急連絡や避難誘導を行えます。

補足

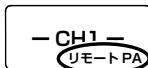
この機能を使用するには、送信側受信側共にあらかじめ設定が必要です。設定に関しては、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。



送信する側の操作

1. リモートPA (拡声器) 機能をオンにします。

操作に関しては、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。
リモートPA がオンのときは、画面に“リモートPA” が点灯します。



2. マイクロホンのセカンダリ PTT スイッチを押すと送信状態になり、他の無線機の外部スピーカーから音声が出ます。

受信する側の操作

1. “リモートPA 受信” をオンにします。

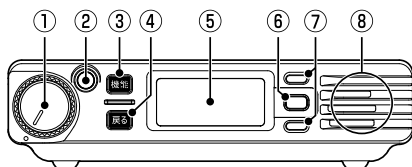
操作に関しては、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

2. リモートPA の信号を受信すると、外部スピーカーから自動的に受信した音声が出ます。

マルチチャンネル待ち受け機能が動作中にリモートPA の信号を受信すると、待ち受け動作は一時的に停止し、外部スピーカーから受信した音声が出ます。リモートPA の信号が無くなると、再びマルチチャンネル待ち受け動作を開始します。

各部の名前と機能

フロントパネル



① 電源 / 音量ツマミ

右にまわして電源を入れて、聞きやすい音量に調節します。
電源を切る時は、カチッというまで左にまわします。

② LED インジケータ

信号受信時や送信時に点灯または点滅します。

LED の点灯色・状態	通信状態
緑色・点滅	UC (ユーザーコード) 通信受信 (秘話通信を除く)
赤色・点灯	送信中 (秘話通信を除く)
黄色・点滅	個別通信受信 (秘話通信を除く)
黄色・点灯	個別通信 (通話タイマー中)
水色・点滅	秘話通信受信
青色・点灯	秘話通信送信

③ 機能キー

無線機の各種設定が行えます。

④ 戻るキー

各種設定を行っている時に、1つ前の画面に戻ります。

⑤ フルドットディスプレイ

使用しているチャンネルなどの情報を表示します。
詳しくは右ページの「フルドットディスプレイ」をご覧ください。

⑥ P1 キー

よく使う機能を [P1] キーに登録しておく、ワンタッチでアクセスすることができます。“短押し”と“長押し”で動作する機能が異なる場合があります。

⑦ UP/DOWN キー

- チャンネルを選択します。
- 各種設定を行っている時は、設定項目や設定値を選択します。

⑧ スピーカー

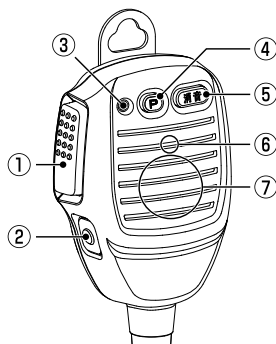
マイクロホンのスピーカーやリアパネルに接続した外部スピーカーからも音を出すことができます。

フルドットディスプレイ



- ◀ アイコン表示部
- ◀ チャンネル / モード表示部
- ◀ チャンネル番号 / 個別選択呼び出しコード等表示部

	受信時：受信している電波の強さを4段階で表示します。 送信時：送信出力を下記の3段階で表示します。 High (10W出力)、Mid (5W出力)、Low (1W出力)
	送信出力を表示します。 (表示なし) : High (10W出力) M : Mid (5W出力) L : Low (1W出力)
	秘話通信機能がオンの時に表示します。
	Bluetooth® 機能がオン (接続中) の時に表示します。
	音声自動送信 (VOX) 機能がオンの時に表示します。
	メッセージ送信中 / 受信中に表示します。
	GPS 機能がオンの時に、GPS 衛星を測位すると表示します。未測位時は点滅します。
	セカンダリ PTT スイッチの操作が有効な時に表示します。
	キーや PTT スイッチなどがロックされている時に表示します。
	マルチチャンネル待ち受け機能の対象チャンネルを選択している時に表示します。マルチチャンネル待ち受け機能が動作中は点滅します。
CH 000	設定しているチャンネル番号を表示します。
個別	個別通信の個別呼出に設定している時に表示します。
グループ	個別通信のグループ呼出に設定している時に表示します。
一斉	個別通信の一斉呼出に設定している時に表示します。



① PTT (通話) スイッチ

押すと送信状態になります。放すと待ち受け状態になります。

② セカンダリー PTT スイッチ

◎押している間、セカンダリ CH に設定したチャンネルで送信します。

セカンダリ CH に関しては、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◎ PA (拡声器) 機能が登録されている場合は、押している間は外部スピーカーから音声が出ます。

③ LED インジケータ

信号受信時や送信時に点灯または点滅します。

LED の点灯色・状態	通信状態
緑色・点滅	受信中
赤色・点灯	送信中
黄色・点灯	個別通信 (通話タイマー中)
黄色・点滅	個別通信受信 (秘話通信を除く)

④ P2 キー

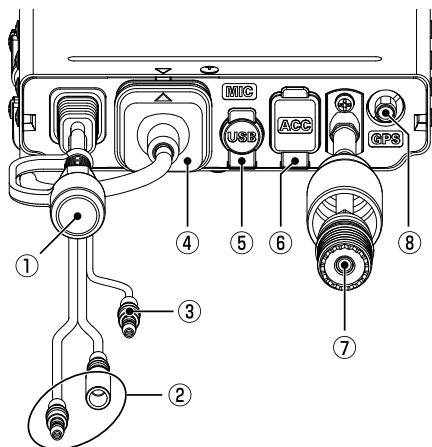
よく使う機能を P2 キーに登録しておく、ワンタッチでアクセスすることができます。“短押し”と“長押し”で動作する機能が異なる場合があります。

⑤ 消音キー

受信音やビーブ音をミュート (消音) することができます。

⑥ マイク

⑦ スピーカー



① 外部スピーカー端子*

(3.5 Φモノラルミニジャック)
オプションの外部スピーカー (MLS-200) を接続します。

② DC 電源コード

付属のヒューズ付 DC 電源ケーブルを使って 12V/24V のバッテリーまたは、直流安定化電源に接続します。

③ イグニッション端子* (黄色)

自動車の ACC (アクセサリ) に連動して、本機の電源を自動でオン/オフできます。

使用方法は、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

④ MIC 端子

付属のマイクロホン SSM-77E が取り付けられています。

⑤ USB 端子*

パソコンと接続して無線機の設定を行う端子ですので、通常は使用しません。

⑥ アクセサリー端子 (ACC) *

外部機器を接続します。

⑦ アンテナコネクタ

アンテナを接続します。

⑧ GPS 端子*

オプションの外部 GPS アンテナ (SCU-38) を接続します。

※：使用しない時は本機の防塵・防水性能を保つため、ラバーキャップをしっかりと取り付けてください。

通信方式について

本機は“UC(ユーザーコード)通信”と“個別通信”の二通りの通信方式に対応しています。

補足 通信方式の設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

UC(ユーザーコード)通信

同じユーザーコードに設定している局同士が通話ができます。

ユーザーコードの設定

UC通信は同じチャンネルにあわせている局で、かつUC(ユーザーコード)を設定している局同士だけが通話することができる通信方式です。ユーザーコードは数字2桁で、“00”～“63”の中から設定できます。

補足 ユーザーコード“00”は、共通ユーザーコードとして扱われ、受信時はコードが異なる信号も受信できますが、送信時は“00”を設定している相手としか通信することができません。

個別通信

個別通信では特定の相手だけ呼び出すことや特定のグループに属する全員を呼び出す、また、全ての局を一斉に呼び出して通話をすることができます。

メニュー設定

“メニュー”を呼び出す動作を割り当てたキーを押すと表示する“メニュー設定”では、無線機の各種設定ができます。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

補足

メニュー設定を使用するためには、販売店での設定が必要です。設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

項目	機能
オーディオ設定	
ビーブ設定	電源を入れたときやキーを押したときなどに鳴るビーブ音の音量を設定します。
マイク感度	無線機に接続しているマイクやアクセサリ端子に接続した外部マイク、Bluetooth ヘッドセットのマイク感度を調節します
イコライザー	送信音 / 受信音を好みの音質に変更できます。
スケルチ (アナログモードのみ)	信号がない時のノイズを消すスケルチ機能のレベルを設定します。
CUE スピーカー	CUE 受信時に使用するスピーカーの設定をします。
ワンタッチ VOL	キーを押すだけで、音量ツマミをまわさずにワンタッチで音量を一時的に変更できます。
スピーカー切替	フロントスピーカーとマイクスピーカーを切り替えます。
通知設定	
TX ビーブ	自局の送信開始時に鳴るビーブ音を ON/OFF します。
RX ビーブ	相手局の送信終了を知らせるビーブ音を ON/OFF します。
弱電界アラーム	受信信号が微弱になったことを知らせる弱電界アラームを ON/OFF します。
CH ガイダンス	電源を ON にしたときやチャンネルを変更した時に、チャンネル番号を音声で案内する機能を ON/OFF します。
不在着信ベル	相手からの個別呼び出しを受けた後に応答しなかった場合にベル(電子音)を鳴らします。
UC ベル	UC 通信で運用中に、UC (ユーザーコード) が同じ相手局から呼び出しを受けた時にベル音を鳴らします。
個別ベル	個別呼び出しを知らせるベル音の鳴る回数を設定します。
グループベル	グループ呼び出しを知らせるベル音の鳴る回数を設定します。
表示設定	
ライト禁止	ディスプレイとキーの照明および LED インジケータの点灯を ON/OFF します。
コントラスト	ディスプレイのコントラストを調節します。
ディマー	ディスプレイとキーのバックライトの明るさを調節します。
メイン文字サイズ	チャンネル表示画面の文字の大きさや表示内容を設定します。

項目	機能
音声自動送信 (VOX)	
VOX 動作	音声で送信と受信を切り換える“音声自動送信 (VOX) 機能”を ON/OFF します。
VOX 感度	音声自動送信 (VOX) の感度を設定します。
セミ VOX	音声自動送信 (VOX) 機能が ON のときに、周囲の騒音などで不用意に送信しないようにできます。自動で送信状態にはならず、PTT (通話) ボタンを押すと送信状態になり、話をしている間は PTT (通話) ボタンを放しても送信を続け、話を止めると自動で待ち受け状態に戻る機能を ON/OFF します。
VOX 送信保持時間	VOX 送信状態から受信状態に戻るまでの遅延時間を設定します。
待受信	
待受信動作	信号を待ち受けします。
待受信タイプ	待受信機能動作時の待受信方式を設定します。
待受信 CH	待受信タイプの“プログラム 1”および“プログラム 2”のそれぞれに、待受信したいチャンネルを登録します。
待受信 PTT	待受信機能動作中の PTT ボタン操作時に送信するチャンネルを設定します。
待受信 RX	待受信動作後に、信号を受信して待受信が停止した後の待受信再開条件を設定します。
待受信指定 CH1	待受信での指定チャンネル 1 のチャンネルを設定します。
待受信指定 CH2	待受信での指定チャンネル 2 のチャンネルを設定します。
Bluetooth®	
機能	Bluetooth® 機能を ON/OFF します。
通信設定	
自局 ID	個別通信時の自局 ID を設定します
ユーザーコード	ユーザーコードを設定します。
秘話	秘話コードが一致する無線機同士だけが通話することができる秘話機能を ON/OFF します。
宛先設定	個別通信で応答待ち時間が経過して、待機状態に戻る際の、呼び出し先表示の条件設定。
クイックアンサー	あらかじめ録音した「了解しました。後程応答します。」などのメッセージを送信できます。
アンサーバック	宛先 ID の相手局と通信が可能かどうかを確認できます。
メッセージ	受信したメッセージの履歴を表示します。
ステータス	あらかじめ設定してある簡易メッセージを送信したりメッセージを確認したりします。
リモート制御	指定した無線機をリモート制御できます。

項目	機能
通話タイマー	相手が応答するまでの応答待ち時間（通話タイマー）を設定します。
送信出力	送信出力を設定します。
ARTS	定期的に発信される他局からの情報を受信し、交信圏内圏外の表示を行います。
コールモード	個別通信時に呼び出しを行う際、相手が通信圏内であるかどうかを確認します。
リモート PA	離れた場所にある PA（拡声器）機能対応無線機の PA 機能を動作させます。
履歴	
リピート再生 （デジタルモードのみ）	自動で録音した音声を再生します。
録音メモ （デジタルモードのみ）	録音した音声を再生します。
発信履歴	送信した宛先 ID の履歴を表示します。
着信履歴	受信した宛先 ID の履歴を表示します。
メッセージ受信履歴	受信したメッセージの履歴を表示します。
ステータス受信履歴	受信した簡易メッセージの履歴を表示します。
履歴リセット	発信、着信、メッセージ、ステータス履歴の消去。
操作設定	
キーロック	キーロック時にロックするキーや PTT スイッチを選択できます。
PTT ホールド	PTT（通話）ボタンの動作を、一度押して放しても送信状態を保持して、もう一度押すと待ち受けに戻る動作に変更できます。
セカンダリ PTT	PTT（通話）ボタン以外のキー操作で、あらかじめ設定したチャンネルで送信できます。
セカンダリ PTT 固定 CH	セカンダリ PTT の設定が“待受 / 固定 CH 送信”または“固定 CH 送信”の時に送信するチャンネルを設定します。
GPS 設定（デジタルモードのみ）	
GPS 送信	GPS 信号から得た位置情報を送信します。
緊急設定	
緊急モード	緊急モードが動作した時の緊急動作を設定します。
インフォメーション	
自局情報	自局のユーザーコード、自局 ID を表示します。GPS 使用時は [選択] キーで自局の位置情報を表示します。
無線機情報	現在のチャンネルの周波数を表示します。
機器情報	無線機のシリアル番号と周波数帯域を表示します。

項目	機能
初期化	
履歴リセット	着信履歴、発信履歴、メッセージ履歴を消去します。
設定リセット	無線機のすべての設定を初期化します。

故障かな？と思う前に

間違った操作をしていませんか？修理を依頼される前にお確かめください。

- ◎ 電源が入らない！
 - ・ DC 電源または、DC 電源ケーブルのヒューズが切れていませんか？
 - ・ 車のバッテリーの電圧は正常ですか？
 - ・ 外部安定化電源が「オフ」になっていませんか？
- ◎ キー操作ができない！
 - ・ ディスプレイに“**On**”が表示されていませんか？
 - ➡ ロック解除の操作を行い、ディスプレイに“**On**”が表示されていない状態にしてください。
- ◎ 送信できない！
 - ・ **PTT** スイッチを正しく押していますか？
 - ・ **PTT** スイッチが「ロック」されていませんか？
- ◎ 音がでない！
 - ・ 消音（ミュート）機能が「オン」になっていませんか？
 - ➡ マイクロホンの消音キーを押して、消音（ミュート）機能を「オフ」にしてください。
- ◎ 通話できない！
 - ・ 相手局と同じチャンネルに設定していますか？
 - ・ 相手局との距離が離れすぎていませんか？
 - ・ 相手局と同じ通信方式に設定していますか？
 - ➡ デジタル通信方式とアナログ通信方式では交信できません。
 - ・ UC（ユーザーコード）は正しく設定されていますか？
 - ・ 個別通信の場合、宛先 ID/ グループ ID がありますか？
 - ・ 秘話通信機能が動作していませんか？
 - ➡ ● デジタルモードの場合
お互いの秘話コードが一致していないと、秘話通信による通話をすることはできません。
 - ➡ ● アナログモードの場合
お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと、秘話通信による通話をすることはできません。

防塵・防水性能について

本機および付属のマイクロホン (SSM-77E) は、IEC 国際規格 IP54 相当 (防塵等級 5^{*1}、防水等級 4^{*2}) の防塵、防まつ性能を有しています。この性能を末永く確保していただくために、必ず、ご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

- ◎ キーやボタンのラバー、各端子 (マイク端子、外部スピーカー端子、USB 端子、アクセサリ端子) のラバーキャップなどに、キズ、劣化、汚れがないか確認してください。
- ◎ 埃などで無線機の安全性を損なわないように保護されていますが、埃などがスピーカーやマイク部分の表面に蓄積した場合、音量が小さくなったり、音質が悪くなったりすることがありますので定期的に確認、清掃することをお勧めします。
- ◎ 海水や砂、泥などが付いた時は、ケースが損傷していないことを確認した上で、すぐに乾いたやわらかい布で拭き取ってください。汚れのひどい時は、水を含ませたやわらかい布をかたく絞って拭いてください。
- ◎ 本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください。

※ 1 : 動作に影響を及ぼす以上の粉じんが内部に侵入しない。

※ 2 : いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けない。

定格

送受信周波数 : 400.0000MHz ~ 470.0000MHz

電波型式 : F1C/F1D/F1E/F1F (デジタル)
F2D/F3E (アナログ)

変調方式 : 4 値 FSK (デジタル)、可変リアクタンス周波数変調 (アナログ)

通信方式 : 単信フレートーク式

送信出力 : 10W/5W/1W (+20%、-50% 以内)

消費電流 : DC13.8V

送信時 約 2.8A (10W 時)

受信定格出力時 約 600mA (本体スピーカーまたはマイクスピーカー)

受信待ち受け時 約 220mA (GPS OFF)

受信感度 : -2dB μ V 以下 (BER=1%) (デジタル)

-6dB μ V 以下 (12dB SINAD) (アナログ)

低周波出力 : 本体スピーカー / マイクスピーカー 2W 以上 (10% 歪時)

外部スピーカー 4W 以上 (10% 歪時)

温度範囲 : -20°C ~ +60°C

定格電圧 : DC13.8V \pm 10% または DC26.4V \pm 10%

本体寸法 : 約 120mm \times 約 30mm \times 約 120mm (幅 \times 高さ \times 奥行き) (突起物を含まず)




重量 : 本体 約 570g、マイク 約 200g



Bluetooth[®] のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、八重洲無線株式会社はライセンスに基づいて使用しています。


The AMBE+2[™] voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The use of this Technology is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Pat. Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 and #5,195,166.

安全上のご注意 ～必ずお読みください～






本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください。

-  **危険** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
-  **警告** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。





 行ってはならない禁止事項です (例  分解禁止)。

 **必ず守っていただきたい注意事項です。**








危険

-  自動車を運転しながら通話や操作をしない
事故の原因になるだけでなく、道路交通法違反になります。
運転者が使用する時には、車を安全な場所に止めてからご使用ください。
-  航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”での設置および運用をしない
電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。
-  引火性ガスの発生する場所や高所などの危険な場所で使用しない
発火事故や落下事故などの原因になります。
-  DC 電源コードを挟んだり、押し潰すことがないように設置する
火災・発熱・発火・断線などの原因になります。
-  通電中に無線機のフロント部分以外に触らない
本体は回路保護のために放熱しますので、通電中に無線機のフロント部分以外に触ると、やけどなどの原因になります。

警告

-  分解や改造をしない
本機は電波法に基づく無線局で使用する通信機器です。
分解や改造は違法ですのでおやめください。
また、ケガ等の事故や故障の原因になります。
-  本機は、“IP54 相当”の防塵・防まつ構造になっておりますが、もし濡れた場合にはそのまま放置せず乾いた布などで拭いてください。
性能や寿命を低下させる原因になります。
-  自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
-  指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。
火災や感電の原因になります。

注意

-  指定以外のオプションを使用しない
ケガの原因になります。
また、本体の故障や破損の原因にもなります。
-  強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない
故障の原因になります。
-  磁気カードなどを無線機やマイクに近づけない
キャッシュカードなどの内容が消去されることがあります。
-  本機を直射日光の当たる場所 (ダッシュボード) や熱器具 (ヒーター) の近くに設置しない
変形や変色等の原因になります。
-  シンナーやベンジンなどでケースを拭かない
変形や変色等の原因になります。
ケースが汚れた場合には、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
-  ゴム製品、プラスチック製品を無線機本体に触れたまま放置しない
無線機は回路保護のために放熱しますので、ゴムやプラスチックが変形や変色する原因になります。
-  マイクのコードを強く引き伸ばしたままにしない
コードの変形や断線などにより、故障の原因になります。

STR 業務用通信機

Superior Technology Radio

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入いただいた販売店または、下記までご相談ください。

取扱説明書の記載内容を予告無く変更する場合があります。

八重洲無線株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル

電話：03-6711-4055

URL：http://www.yaesu.com/jp/



E N O O 6 U O 6 0

2111Q-BC
Printed in China